

竜玉の風

高陽中学校 学校たより 平成31年4月15日発行

平成31年度始まる！



このたびの人事異動によりまして、校長として着任した香山（かやま）と申します。高陽中学校には、教諭として8年、教頭として3年勤務しています。本校の全職員とともに全校生徒の成長のために、全力を傾けて取り組んでまいります。保護者の皆様、本校教育の推進に、これまで同様お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

8日の始業式、2年生3年生に進級した生徒たちの表情は引き締まり、頼もしさを感じました。また、11日の入学式は厳粛に行われ、式場内が新学期にふさわしい明るい雰囲気包まれ、全生徒から「がんばるぞ」という気迫が溢れていました。教職員一同、その気持ちを受け止め、大切にしながら、成長の手助けをしていきたいと思いました。

さて、今年度の「チーム高陽」は、1年生83名、2年生92名、3年生96名の合計271名で始まりました。この生徒たちの心身を成長させ、新しい高陽中の歴史を創っていくための教育目標は【自立と貢献～自立し社会に貢献できる生徒を育てる】です。この目標の達成のために、生徒には4つの努力目標 ①勉強をがんばる。②部活動をがんばる。③生徒会・学校行事をがんばる。④ボランティア活動をがんばる。ことを重点的に指導してきたいと思います。高陽中学校の生徒一人一人が学校内外でがんばる姿に声援をおくっていただくとともに、学校支援活動に積極的にご参加いただくことが、生徒の励みになると思います。よろしく
お願いします。



校長 香山 浩一郎



平成31年度
高陽中学校
教職員



高陽中に新たな風を 吹き込みます！



8日の新任式で新しく本校に着任した8人の先生が紹介されました。式では、高橋葉月さんから歓迎のことばをもらい、生徒のためにがんばろうと全員が誓いを新たにしました。

着任者の紹介です

- 香山 浩一郎先生（校長）
- 宇野 裕也先生（社会）
- 中林 沙織先生（家庭）
- 新田 恵子先生（養護教諭）
- 河村 幸代先生（理科）
- 東山 由紀子先生（英語）
- 山本 正広先生（別室指導員）
- ブライアン・カマチョ先生（ALT）



涙の転退任式！ お世話になりました！



春は出会いと別れの季節。9日、平成30年度末の異動で本校を去られる先生方の転退任式を行いました。勤務年数の長短はありますが、9人の先生とも、高陽中学校のため多大な貢献をいただいた先生であり、寂しい思いでいっぱいです。ほんとうにありがとうございました。生徒たちは涙で別れを惜しんでいました。

転退任者の紹介です

- 平田 俊治校長（6年）
- 大山 都先生（8年）
- 山耕 一郎先生（2年）
- 萩原 剛史先生（3年）
- 片岡 充先生（4年）
- 時岡 弥生先生（4年）
- 岡崎 由香先生（8年）
- 森下 千賀子先生（1年）
- 永井 伸一郎教頭（2年）



全国大会で大活躍！ バスケットボール 岡山県選抜チーム3位！



3月28日～30日に東京都武蔵野の森体育館で行われた都道府県対抗ジュニアバスケットボール大会において、山本起勲君、島田虎次郎君が県の選抜チームのメンバーとして大活躍をし、みごと3位入賞をはたしました。なお、山本君は大会の優秀選手に選ばれました。また、選抜チームの監督は、本校の柄川祥先生です。



おめでとうございます。
彼らの今後の活躍を祈るとともに、高陽中学校のすべての部活動が躍進することを願っています。10日の入学式予行後に表彰式を行いました。

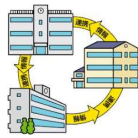
★ お知らせ ★ 岡山県が推進する教育課題解決のための 教育活動のモデル校に決定

1 規範意識向上モデル学区

目的：落ち着いた学習環境を実現するために、学校と警察が連携して活動をする。

内容：県警の学校警察連絡室の警察官の協力による問題行動の未然防止の取組

具体：①週2日1～2時間程度の訪問で校内を巡回する。制服着用の時もある。
②あいさつ運動、非行防止教室等



2 不登校対策別室指導実践研究モデル校

目的：学校の不登校生徒への対応力を高めるため、専用の教室を設置し、個々の状況に応じた学習支援・生活支援の充実を図る。

内容：不登校対策の専門教室にて、担当の専属教員（スクールポーター）の支援による教室へ復帰する手助け

具体：①専門教室の名称は「輝学級」
②学力補充、集団・社会のルール の学習、対人関係づくりの練習等



2つの活動は、岡山県が教育課題として考えている問題解決のために実施するものです。ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

大切にしてほしい！ 『I・相・愛』



始業式・入学式で生徒たち
に次のような話をしました。話の抜粋です。

I 『I』：英語では、私を表す単語ですが、自分ということも意味しています。『I』を大切にすることは、今の自分をあるがままに認め、自分自身を甘やかすことなく、成長させるために目標をもって、生活することです。自分を大切にすることで、心に余裕ができ、人に優しくできたり、人間関係もよくなったりします。

『相』：相手という意味ですが、この相手には、友達・家族・地域の方など自分以外のすべての人が含まれています。『相』を大切にすることは、他の人に対して、優しさや思いやりをもって接するという事です。人が困っているときに、その人のために行動できる人になってほしいと思います。相手を大切にすれば、学校は安心して生活できる場所となります。



愛 『愛』：自分・友達・家族・地域など、自分と関わるすべての「ひと・もの・こと」に対して、愛情をもって接してほしいということです。『愛』には、「(自己愛)理想の自分と今の自分との間に大きな差があったとしても、今の自分が好きだと言える気持ち (友愛)友達と喧嘩をしても、友達と仲良くやっ払いこうとする気持ち (家族愛)家族と言い争いをしたとしても、自分を支えてくれる家族へ感謝する気持ち (地域愛)生まれ育った地域に貢献しようとする気持ち」があります。

一つ目の『I』と二つ目の『相』にも深く関係する三つ目の『愛』をぜひ大切に、学校生活を送ってほしいと願っています。



◇学校の安心感の高揚のために、 各ボランティア活動へのご参加を◆

地域と学校が協働して、子どもたちや地域の方が、笑顔と元気になる活動にご協力ください。この取組により、子どもたちの自己肯定感は、確実に高まっています。

ご参加いただきたい取組は、

- ① 心を磨くトイレ掃除
- ② 盆踊りへKOYO祭2019
- ③ 環境整備活動・読み聞かせ・学習支援

ご理解とご協力をよろしくお願いします。

